

神奈川のみち 「道路見える化計画」を進めます ～道路行政の新たな取り組み～

記者発表資料

◎ 「道路見える化計画」について

「道路見える化計画」とは、県民の皆様のご理解が得られるよう、道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える」ようにし、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していくものです。

◎ 神奈川県内における取り組み

「道路見える化計画」について、神奈川県内では以下の取り組みを進めていきます。

① 渋滞見える化プラン

- ・「神奈川県移動性向上委員会」（委員長：横浜国立大学 教授 中村文彦）における審議及び道路利用者アンケートを踏まえて、
→県内で移動性が阻害されている箇所として、13地区 34箇所を選定
- ・今後は、対策の検討及び実施等を進めます。

② 交通安全見える化プラン

- ・「神奈川県安全性向上委員会」（委員長：横浜国立大学 助教授 岡村敏之）における審議により、
→県内で交通安全対策が必要な箇所のうち、解決を急ぐべき 15箇所を選定し、道路利用者アンケートを踏まえ、対策案を立案
- ・今後は、安全対策を実施し、対策効果をフォローアップしていきます。

③ 現場見える化プロジェクト

- ・道路事業の最前線である工事現場において、「この工事は何の目的で、何を改善するのか」など、
国民や道路ユーザーが知りたいことを分かりやすく「伝える看板」の設置に取り組みます。

◎ 今後の道路行政の進め方について

「道路見える化計画」の各プロジェクトに基づき、道路の課題・解決策を県民の皆様に「見える」ようにし、成果を重視したより効率的な道路行政を進めてまいります。



平成18年 6月21日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ
横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会 川崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

副所長 みのさく こういち
箕作 光一

計画課長 たけばやし ひでき
竹林 秀基 TEL 045-316-3536(直通)

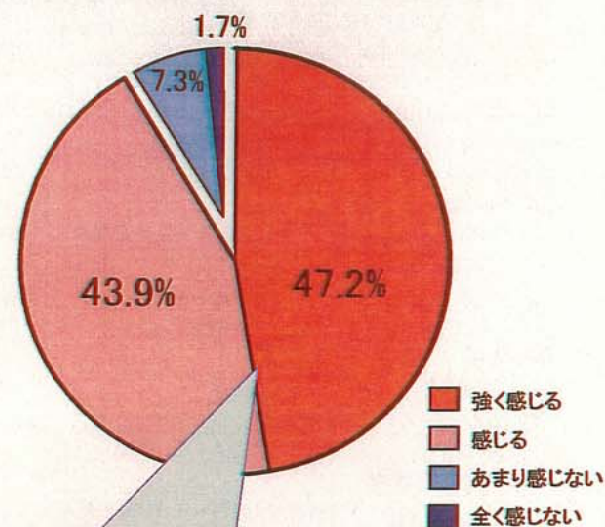
調査票、インターネット、携帯電話によるアンケートを実施し、抽出した対策の必要な箇所が利用者の実感と合っているかを確認

アンケート調査結果

全地区・箇所で利用者の実感とおおむね合致

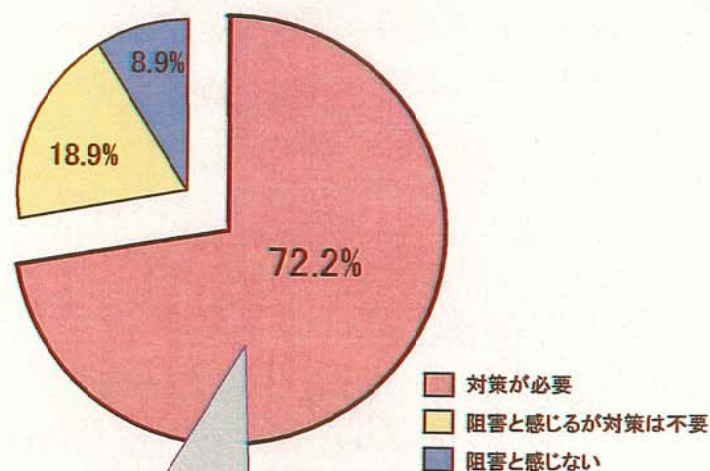
13地区34箇所のアンケート結果を合計すると

移動性が阻害されていると感じるか



約9割が「移動性が阻害されている」と感じると回答

対策が必要と感じるか



約7割が「対策が必要」と回答

データにより抽出した対策の必要な箇所に対する利用者の実感を確認
抽出した13地区34箇所を要対策地区・箇所として選定

今後の取り組み

- ◆原因・課題やデータを分析し、重要度の高い箇所を選定します
- ◆データに基づく解決策を検討します
- ◆必要性の高い箇所から対策を実施します
- ◆効果を検証します

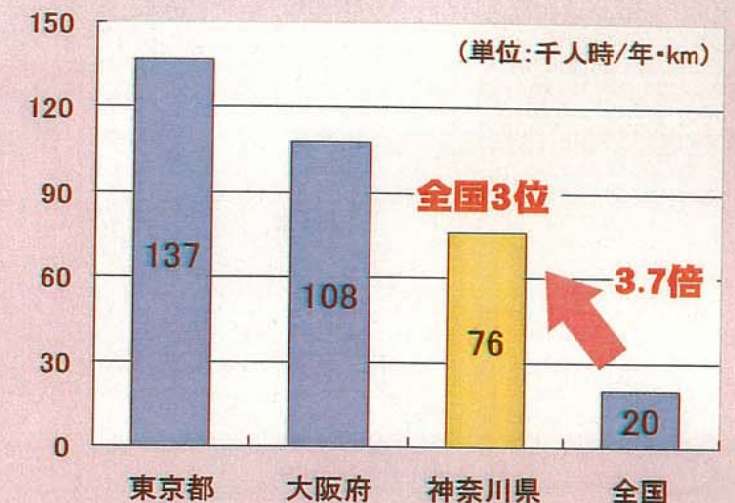
検討過程・結果等を公表

渋滞見える化プラン

神奈川県の渋滞は...

- 全国で ワースト3位
- 全国平均の 3.7倍

※データは「渋滞による損失時間」の比較
(出典:国土交通省 業績計画書)



県内 約1,500kmの道路から、道路利用者アンケートを踏まえ、13地区34箇所(全体の約5%)を厳選。

- 道路の課題をデータできちんと把握します。
- 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
- 道路行政をもっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画
課題が見える・やり方が変わる

神奈川県移動性向上委員会

問い合わせ先: 国土交通省 関東地方整備局横浜国道事務所 計画課
TEL: 045-316-3536 ホームページ: <http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>

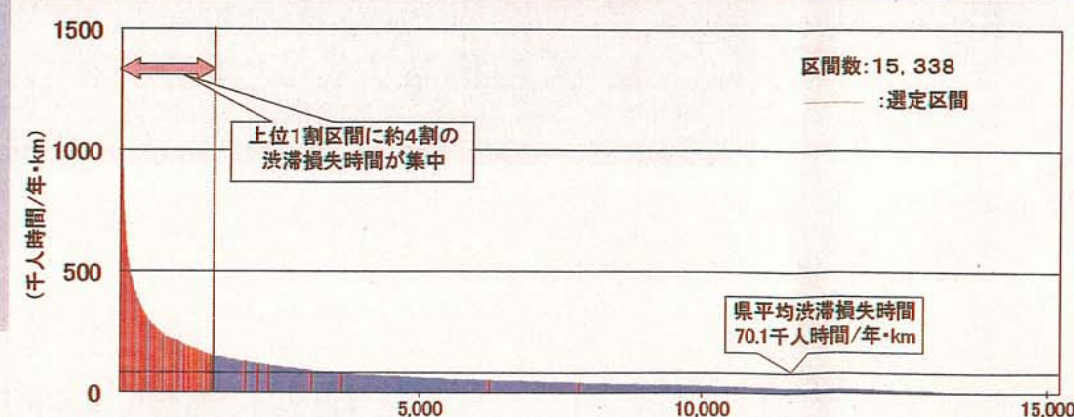
データを分析した結果、見えてきた阻害箇所

要対策箇所は学識者や道路利用者の代表からなる委員会での助言を受けて選定しています。

■ 要対策箇所として選定された13地区34箇所

番号	地区・路線名	箇所	阻害要因
1 川崎横浜都心地区			
1-1	国道1号	多摩川大橋～下末吉交差点	渋滞
1-2	国道1号	浜松町交差点	渋滞
1-3	国道15号	大黒町入口交差点	渋滞
1-4	国道15号	栄町交差点	道路構造
1-5	(主)東京丸子横浜線	綱島交差点	渋滞
1-6	(主)東京丸子横浜線	大田戸交差点	渋滞
1-7	(主)東京大師横浜線	京急大師線踏切付近	道路構造
1-8	(主)横浜生田線	浅間下交差点～岡野交差点	渋滞
1-9	国道1号	保土ヶ谷橋交差点	渋滞
1-10	国道1号	不動坂交差点	渋滞
2 横浜横須賀連結地区			
2-1	国道16号	青砥坂交差点～杉田交差点	渋滞
3 横須賀地区			
3-1	国道16号	吉倉町～追浜町	道路構造
3-2	(主)横須賀三崎線	衣笠十字路口交差点	渋滞
4 原宿地区			
4-1	国道1号	原宿交差点	渋滞
5 湘南地区			
5-1	国道1号	工業団地入口交差点	渋滞
6 横浜川崎北西地区			
6-1	国道246号	新石川交差点～江田駅東交差点 ～市ヶ尾交差点	渋滞
7 厚木秦野地区			
7-1	国道246号	市役所入口交差点～桜坂交差点	渋滞
8 川崎縦貫地区			
8-1	国道409号	京急大師線踏切付近	渋滞
9 保土ヶ谷地区			
9-1	国道16号	梅の木交差点	渋滞
9-2	国道16号	東名横浜町田IC付近	渋滞
10 相模原地区			
10-1	国道16号	輪野森交差点～若松2丁目交差点	渋滞
11 さがみ縦貫地区			
11-1	国道246号	金田交差点～文化会館入口交差点	渋滞
11-2	国道129号	国道246号交点～船子北谷交差点	渋滞
11-3	(主)町田厚木線	相模大橋東交差点	渋滞
12 横浜南部地区			
12-1	(主)原宿六浦線	笠間交差点	渋滞
13 小田原箱根地区			
13-1	国道1号	宮の下交差点	渋滞
13-2	国道135号	石橋IC(西湘BP)～早川口交差点	渋滞
13-3	国道255号	飯泉入口交差点	渋滞
14	国道20号	与瀬～吉野(通行規制区間)	自然災害
15	国道20号	藤野町中心部(吉野～小淵)	道路構造
16	国道467号	光ヶ丘交差点	渋滞
17	国道467号	桜ヶ丘交差点	渋滞
18	(主)横浜伊勢原線	用田交差点	渋滞
19	国道246号	向原	道路構造

〔渋滞データの分析〕 渋滞損失時間が高い上位から抽出



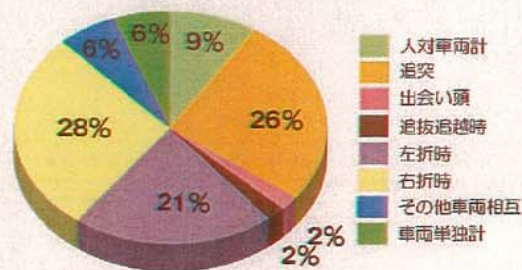
(※1) 上位1割区間に関連する一連区間を選定しており、上位1割区間に入らない箇所は最大値を表示している。
(※2) 上位1割以外の選定箇所は、道路構造などにより選定されている。

利用者アンケートによると



現状と課題

事故類型の内訳



追突事故や右左折事故が多発!

②右折時事故



交差点が大きくなるほど、右折する際の走行距離、対向車線を横切る時間が長くなるため、事故に遇う危険が高くなりヒヤリとする。

③左折時事故



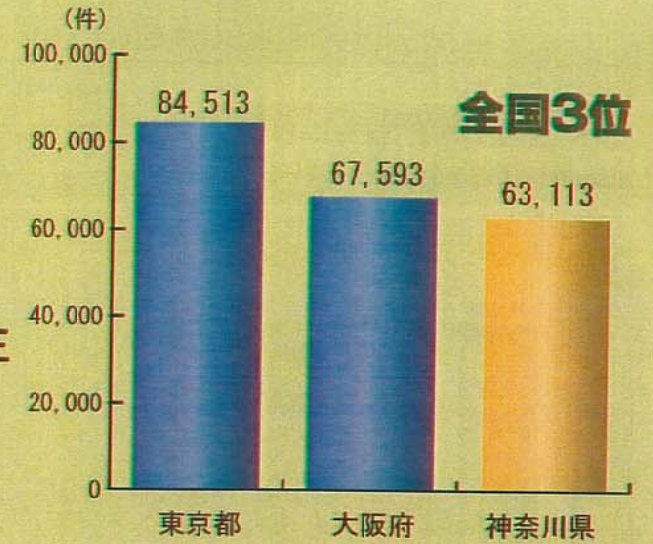
渋滞時等、二輪車が路肩をすり抜け通行すると、左折自動車は確認が遅れ、ドライバーはヒヤリとする。

交通安全見える化プラン

神奈川県は・・・

- 全国で ワースト **3位**
- 一日平均 **170件** 発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。
解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画
課題が見える・やり方が変わる

考えられる対策

追突事故や右左折事故を減少させるための対策

追突事故対策	→	路面表示(追突注意)による注意喚起
右折時事故対策	→	指導線の改良による走行軌跡の安定
左折時事故対策	→	巻き込み縮小による左折車両の走行速度低下

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

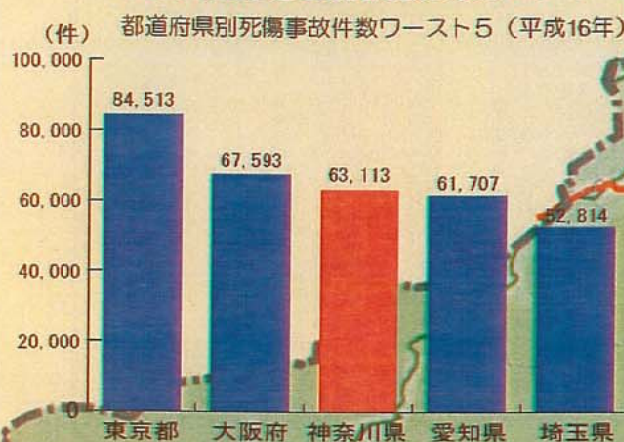
詳細に分析

要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

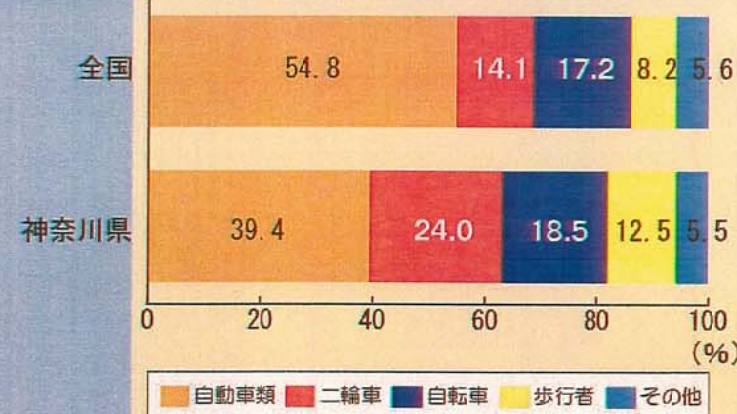
番号	路線名	地元名	箇所名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市金沢区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市南区	吉野町3丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ヶ谷区	保土ヶ谷公園入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市高根	淵野辺交差点	自転車事故等総合的に選出
6	一般国道16号	相模原市相模大野	東林間入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模湾物産前交差点	自転車事故等総合的に選出
8	一般国道246号	厚木市妻田	妻田伝田交差点	自転車事故等総合的に選出
9	一般国道1号	大磯町高麗	花水橋東交差点	自転車事故等総合的に選出
10	一般国道1号	平塚市明石町	崇善小学校前	自転車事故等総合的に選出
11	一般国道1号	川崎市幸区	尻手	自転車事故等総合的に選出
12	一般国道246号	厚木市松枝	市立病院前	自転車事故等総合的に選出
13	一般国道467号	大和市深見台	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 津久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	県道ワースト100等総合的に選出
15	(主) 藤原伊勢佐木線	横浜市中区初音町	初音町交差点	自転車事故等総合的に選出

※1 死傷事故件数が多い!!



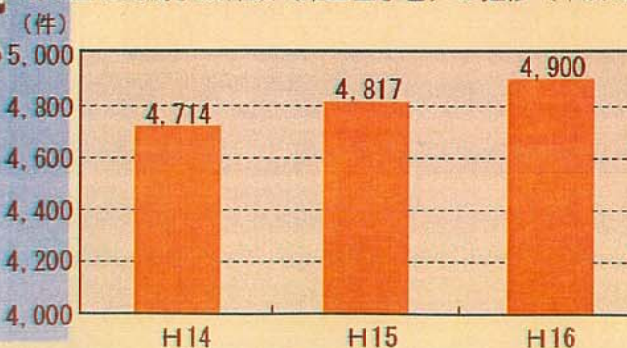
※2 二輪車・自転車の事故が多発!!

当事者別の死傷事故件数 (第2当事者)



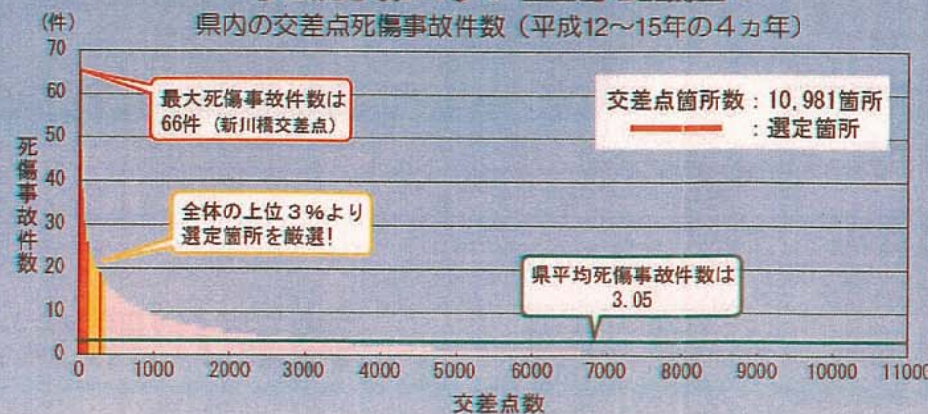
※3 高齢者の事故が増加傾向!!

65歳以上の死傷事故件数 (第2当事者) の推移 (平成16年)



事故件数の多い箇所を厳選!!

県内の交差点死傷事故件数 (平成12~15年の4カ年)



「現場見える化プロジェクト」 看板の設置例

原宿交差点の看板設置状況



現状の課題・工事の目的などを分かりやすく明示

各現場における看板設置状況



工事の内容を分かりやすく目立つように明示